

第3回 前近代歴史地震史料研究会

2015年 11月 7日 (土)

10:20~17:20 受付開始 10:00

研究発表会・ポスター発表会場：新潟大学総合教育研究棟 D 棟 1 階大会議室

研究発表会 10:20~12:00

- 矢田俊文・村岸 純 1703 年元禄関東地震における九十九里浜地域の被害—津波到達点と死亡者数—
- 齋藤瑞穂・齋藤友里恵 新潟県見附市田井福順寺境内の試掘調査
- 荒川隆史 縄文時代晩期末葉の青田遺跡と鳥海山における災害の暦年代と影響
- 山岸洋一 糸魚川市内遺跡における地震痕跡
- 片桐昭彦 年代記にみる中世の地震

ポスター発表 12:50~13:10

- 原田和彦 善光寺地震における幕府への被害報告 上田藩の場合

研究発表会 13:10~14:30

- 松岡祐也 『柴山勤兵衛記』にみる 1596 年豊後地震と災害伝承
- 西尾和美 文禄 5 年の地震について
- 蝦名裕一 元禄・宝永期の幕府による災害対応—富士山噴火を中心に—
- 谷口 央 志摩・伊勢両国に見る被害の実態と記載文言の関係—宝永地震を中心に—

研究発表会 14:40~16:00

- 原田和彦 前近代における長野県大北地区（大町市周辺）の地震
- 原 直史 支配領域の錯綜と災害対応—文政 11 年三条地震を中心に—
- 小野映介・堀 健彦 1833 年庄内沖地震による能登輪島の津波被害—絵図と地形の分析から
- 西山昭仁 1855 年安政江戸地震における日光東照宮での地震対応

研究発表会 16:20~17:20

- 村岸 純・西山昭仁・石辺岳男・佐竹健治 1855 年安政江戸地震の神奈川県域内の被害
- 安田容子 1856 年安政三陸（八戸沖）地震津波再考—八戸の記録を中心に—
- 堀 健彦・小野映介 1964 年新潟地震による佐渡両津の津波被害の実態と地形環境
—日本海域における歴史地震を考える手がかりとして—

主催：新潟大学災害・復興科学研究所 被災者支援研究グループ、地震・火山噴火予知研究協議会 計画推進部会 史料・考古部会「日本海沿岸地域を中心とした地震・火山噴火災害関連史料の収集と分析」研究グループ、科学研究費挑戦的萌芽研究「前近代における地震活動期の研究—15 世紀後半と 16 世紀末・17 世紀初頭を中心に—」研究グループ

どなたでも参加いただけます。（申込不要）

問い合わせ先 矢田俊文（新潟大学人文学部、新潟大学災害・復興科学研究所兼任）

〒950—2181 新潟市五十嵐 2—8050 新潟大学人文学部

TEL：025—262—6542 MAIL：yata@human.niigata-u.ac.jp